



豊後大野市小中一貫教育校緒方学園 緒方中学校 学校だより

青雲の大志

令和6年9月2日

NO.56 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】 自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成

学力調査の結果から

4月に実施した全国学力・学習状況調査(9年生)と大分県学力定着状況調査(8年生)の生徒質問紙の結果及び指導の改善等について検討したことの概要をお知らせします。家庭との連携が必要などころがありますので、ご協力、よろしくお願いいたします。

なお、詳細なデータは、学校HPに掲載しています。

(緒方中学校>学校経営>学力向上の取組)

【学校・家庭生活について】

<9年生>

○基本的な生活習慣が身についている生徒が多く、それが家庭学習時間の確保や健康、落ち着いた学校生活につながっていることが分かります。

○81%の生徒が「自分にはいいところがある」と肯定的に回答しています。昨年4月の県調査時点より44.2ポイントと、大幅に上昇しています。生徒会活動や学校行事等で特技や個性を生かした活動ができていて、「振り返り」が丁寧に行われていることの成果だと考えます。

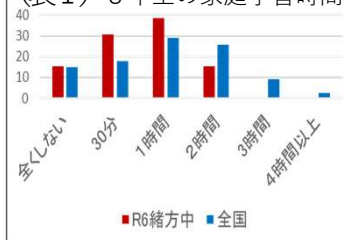
<8年生>

○多くの生徒が、家族や友達、先生からの支えを感じながら、自己肯定感をもって生活しています。

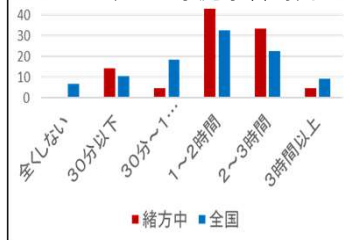
○自分の感情を表出することが苦手な生徒が少なくないという結果が出ています。が、クラスには、支え合ったり励まし合ったりする雰囲気を感じている生徒が9割以上います。そのことを確認しながら、気持ちの伝え方などのスキルを高める取組を引き続き進めてまいります。

○家庭学習の時間が確保できていない人がいるのが気になります(表1)。また、「自立」という観点からみると、自分でできること、やるべきことをせずに、家の人に頼っている様子も見えます(表2)。義務教育修了まで残り1年半、高校生活に対応できる生活習慣になるよう、ご家族には「やってあげた方が速いけれど、待つ」「たとえ本人が困っても自分で責任をとらせる」姿勢も必要などころがあります。

(表1) 8年生の家庭学習時間



9年生の家庭学習時間



【教科に対する意識】

○「教科の勉強が好き」と肯定的に回答した生徒は、ほとんどの教科で県平均を上回っています。

○「教科の勉強が分かる・だいたい分かる」と肯定的に回答した生徒も多くの教科で県平均を上回っています。

9年生

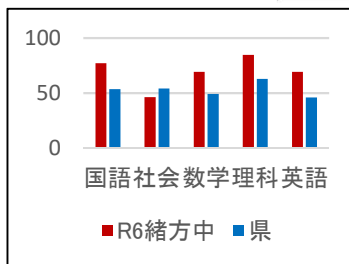
教科の勉強が好き・どちらかといえば好き

	緒方中	県	全国
国語	90.5	70.2	64.3
数学	66.6	57.4	57.2

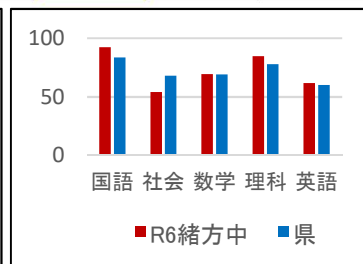
9年生

教科の勉強が分かる・どちらかといえば分かる

	緒方中	大分県	全国
国語	95.2	84.6	92.7
数学	85.7	72.6	75.7



8年生 教科の勉強がとても好き・好き



8年生 教科の勉強がよく分かる・だいたい分かる

【生徒が捉えた指導の状況と課題について】

○生徒は、ICTを効果的に活用した授業が実施できていると捉えています。

○質問紙で取り上げている英語・国語・数学については、いずれも全国的に改善が求められている方向で本校も授業改善が進んでいます。

○本校が目指している問題解決的な展開の授業(問題発見・課題の設定・情報収集(調査・実験等)・整理分析・まとめ・発信などのプロセスで展開される授業)については、総合的な学習の時間では、8~9割程度の生徒がその成果を感じています。今後は、全ての教科で生徒が主体的に取り組んでいる実感がもてるよう、組織的な授業改善をさらに進めます。

○すべての生徒に分かる授業となるように、基本的な授業展開を意識させる工夫や学び方を学ばせる指導の工夫を進めます。単元の学習カードを丁寧に活用するなど指導を改善してまいります。

(表2)

質問	緒方中	全国
1 朝食は毎日食べていますか	76.9	87.0
2 朝は自分で起きていますか	53.8	69.0
3 学校に持っていくものは前日のうちに確かめていますか	46.2	62.9